

自己評価の結果について

(公表シート 様式 4)

学校法人旭川カトリック学園 旭川みその幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づいて、1.神に作られて愛されている人間として、心身の調和的発達を図りながら、日常生活の基本的習慣を身につけ、2.集団生活の諸経験の中で、神と人とを愛する心、信頼する心を養い、それを自発的に行動で表せるように導き、3.身近の自然の事象が神のみわざであることを知り、その恵みに感謝し、全てのもを大切にすることを育て、4.人々との関わりや祈りによる神との語らいの中で、自分の意志を表示することは『聞く・話す・考える』力を養い、5.一人ひとりが、神さまから与えられた力を十分に発揮し、楽しんで表現活動に参加できるように導き、6.神の恵みに導かれながら、自発的に善を行う強い意志が芽生えるように導く幼児教育を目指している。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解を図り、教育の質を高める。自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認実施することで、本園としての中・長期のビジョンを明確化し、当地域において本園が今後担う役割について検討する。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	新しい幼稚園教育要領についての話し合いや理解が十分に行われなかった。保育計画、指導計画、環境構成などを充実して行った。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	安全管理には施設・環境・指導に気を配った。 幼児理解の向上のため、職員の共通理解、情報交換など園全体で一人ひとりを見守る適切な保育ができた。 長期休業中の預かり保育の充実や、未就園児の親子教室の実施などの子育て支援を行った。
3 保行者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	保行者としての意識を常に持つように心がけ、質の向上を目指し保育に当たった。
4 保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。	個人懇談や通信文、また必要な時は個々に連絡を取るなど、子どもの様子を保護者に伝えるよう努めた。また、保護者のニーズ把握のため、コミュニケーションを図ること、アンケート調査などを行った。

<p>5 地域社会との連携</p> <p>地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<p>園外保育、勤労感謝訪問などを通して、地域の自然や社会との関わりを深めた。</p> <p>小学校との連携は十分出来なかった。</p> <p>園開放事業「ひだまり」に地域の方々にご参加頂いた。</p>
<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>保育に生かすための研修会には積極的に参加したが、記録・考察、地域社会との交流、保育者同士の連携、危機管理などの研修は十分でなかった。</p>
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護の保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<p>園だより、お部屋便り、ホームページなどを通して、園の教育方針や活動の様子などを積極的に公開するよう努めた。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>取り組むべき課題について、自己評価の結果本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。充分行われなかったものに関しては来年度の課題としたい。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p>	<p>安全管理については充分意識して取り組んだが、施設面での対応と教職員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの充実をさらに図りたい。また災害時の対応についても見直しをし、常に園児の安全確保を考えていきたい。</p>
<p>指導計画の編成</p>	<p>新教育要領に基づいた指導計画の作成のために、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した指導計画の編成に取り組んでいく。また、キリスト教の精神と理念に基づいている幼稚園として、宗教教育の指導計画の充実を図りたい。</p>
<p>園に対する保護者の満足度の把握</p>	<p>本学園の建学の精神に則った、独自性に充分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められるカトリック幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。</p>

6. 学校関係者の評価

今年度は、父母の会役員の皆さまに評価を頂いた。

おおむね〈満足〉〈やや満足〉という評価を頂いたが、安全管理(雪山や外遊びの安全など)・危機管理(十分な研修、災害時に備えての体制)・地域社会との連携(老人ホームなどとの交流)には〈やや不満足〉という評価を頂いた。

また、教育理念・各クラスの指導計画などの説明がもっとあっても良い、アンケート調査をもっと実施して欲しい、「ひだまり」をもっと広める工夫をしてはどうかなど、多くの貴重なご意見を頂いた。

来年度は、このご意見も十分参考とさせていただき、来年度の課題として取り組んでいきたい。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。